

グループ連携で開発強化

シクロは来年本格展開へ

ジャテック

ジャテック（金沢市）は今年、織物販売、原系販売とも前年比10%の増収で推移している。2023年は今春から本格提案を開始した生分解性合繊糸「Circle」（シクロ）の拡大を狙うほか、グループ連携によるテキスタ

イル展開の強化を図る。

イントウリンシク・ア

ドバンド・マテリアルズ（米国）との協業で展開するシクロは、インナーやファッションなどさまざまな用途で注目を集めている。現在は生地開発を進めている段階で、来年からの本格展開を狙う。

サステイナビリティー

の流れで生分解性系への注目が高まっているほか、加工系を含めて幅広い

い糸種をそろえることも強みになっている。現在（NT）のグループ連携にはポリエステル長繊維を56gまで、ナイロン長繊維を44gまでそろえ、紡績糸用の短繊維にも対応する。来年はさらにも訴求を強めるとも、KNTでは特殊加工に、本格展開に向けてサイ系の開発強化に向け、今月にはエアール混織機を導入し、来年から本格稼働させる。JCレースでは今年4月に連続精練機、乾機を更新し、6月には新しいセッターを導入して体制を整えたほか、

のケー・エヌ・テー（KNT）のグループ連携に加え、協業する産地企業との連携も強めて生地開発を強化する。

モノ作りの強化に向けた設備投資も積極的に行う。KNTでは特殊加工系の開発強化に向け、今月にはエアール混織機を導入し、来年から本格稼働させる。JCレースでは今年4月に連続精練機、乾機を更新し、6月には新しいセッターを導入して体制を整えたほか、

・テキスタイル、丸編みオータージェット織機、染色加工のJCレース、エアジェット織機の更新系加工やトリコット整経を進めていく。

陸産地